

運用報告書 (全体版)

新光ブラジル債券ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2008年12月22日から2023年12月8日(当初2018年12月10日)まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行います。 ブラジル籍外国投資法人 ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券 内国証券投資信託(親投資信託) 短期公社債マザーファンドの受益証券
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
組入制限	当ファンド	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第119期	<決算日	2019年1月8日>
第120期	<決算日	2019年2月8日>
第121期	<決算日	2019年3月8日>
第122期	<決算日	2019年4月8日>
第123期	<決算日	2019年5月8日>
第124期	<決算日	2019年6月10日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光ブラジル債券ファンド」は、2019年6月10日に第124期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比	券率	投資信託 証券組入比	純資産額
		税金 分	込み 金	期騰 落				
95期 (2017年1月10日)	円 3,436		円 75		% 9.7	% 0.0	% 91.3	百万円 61,633
96期 (2017年2月8日)	3,393		75		0.9	—	90.2	64,924
97期 (2017年3月8日)	3,402		75		2.5	—	95.8	70,927
98期 (2017年4月10日)	3,256		75	△	2.1	—	97.3	75,004
99期 (2017年5月8日)	3,201		75		0.6	—	92.8	76,614
100期 (2017年6月8日)	2,940		75	△	5.8	—	97.3	74,390
101期 (2017年7月10日)	2,992		75		4.3	—	96.7	78,658
102期 (2017年8月8日)	3,044		75		4.2	—	93.5	82,034
103期 (2017年9月8日)	2,958		75	△	0.4	—	92.9	82,422
104期 (2017年10月10日)	2,936		75		1.8	—	97.5	84,678
105期 (2017年11月8日)	2,802		75	△	2.0	—	91.5	85,050
106期 (2017年12月8日)	2,703		75	△	0.9	—	98.2	85,282
107期 (2018年1月9日)	2,706		75		2.9	—	92.2	86,618
108期 (2018年2月8日)	2,543		75	△	3.3	—	97.0	82,279
109期 (2018年3月8日)	2,435		75	△	1.3	—	97.0	79,699
110期 (2018年4月9日)	2,330		40	△	2.7	—	93.0	77,218
111期 (2018年5月8日)	2,218		40	△	3.1	—	90.1	71,945
112期 (2018年6月8日)	1,912		40	△	12.0	—	95.9	58,151
113期 (2018年7月9日)	1,942		40		3.7	—	94.9	57,687
114期 (2018年8月8日)	2,002		40		5.1	—	95.3	58,875
115期 (2018年9月10日)	1,782		40	△	9.0	—	94.1	52,112
116期 (2018年10月9日)	1,965		40		12.5	—	94.5	57,011
117期 (2018年11月8日)	2,019		20		3.8	—	94.9	58,198
118期 (2018年12月10日)	1,908		20	△	4.5	—	95.3	52,037
119期 (2019年1月8日)	1,945		20		3.0	—	93.3	52,165
120期 (2019年2月8日)	1,980		20		2.8	—	95.4	51,999
121期 (2019年3月8日)	1,918		20	△	2.1	—	94.6	49,804
122期 (2019年4月8日)	1,914		20		0.8	—	94.8	49,372
123期 (2019年5月8日)	1,843		20	△	2.7	—	94.5	47,362
124期 (2019年6月10日)	1,882		20		3.2	0.1	96.3	47,867

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌールアイが組み入れた比率は含まれておりません。

※実質的にブラジルレアル建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指数をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

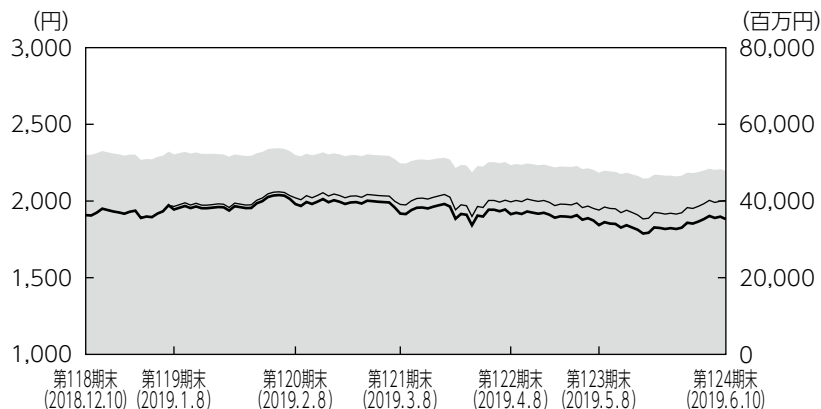
決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	投 資 信 託 証 券	組 入 比 率
			騰 落	率					
第119期	(期 首) 2018年12月10日	円	1,908	% -			% -		% 95.3
	12月末		1,918	0.5			-		93.6
	(期 末) 2019年 1 月 8 日		1,965	3.0			-		93.3
第120期	(期 首) 2019年 1 月 8 日		1,945	-			-		93.3
	1 月末		1,999	2.8			-		97.1
	(期 末) 2019年 2 月 8 日		2,000	2.8			-		95.4
第121期	(期 首) 2019年 2 月 8 日		1,980	-			-		95.4
	2 月末		2,002	1.1			-		94.9
	(期 末) 2019年 3 月 8 日		1,938	△2.1			-		94.6
第122期	(期 首) 2019年 3 月 8 日		1,918	-			-		94.6
	3 月末		1,905	△0.7			-		95.2
	(期 末) 2019年 4 月 8 日		1,934	0.8			-		94.8
第123期	(期 首) 2019年 4 月 8 日		1,914	-			-		94.8
	4 月末		1,888	△1.4			-		95.1
	(期 末) 2019年 5 月 8 日		1,863	△2.7			-		94.5
第124期	(期 首) 2019年 5 月 8 日		1,843	-			-		94.5
	5 月末		1,853	0.5			0.1		95.4
	(期 末) 2019年 6 月10日		1,902	3.2			0.1		96.3

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイが組み入れた比率は含まれておりません。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第119期首： 1,908円
 第124期末： 1,882円
 (既払分配金120円)
 騰落率： 5.0%
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ（以下、ブラジルボンド・ファンド）投資証券等への投資を通じてブラジルリアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、ブラジル国債が堅調に推移したことなどを背景に基準価額は上昇しました。

【主な上昇要因】

- ・ブラジル債券投資における利息収入
- ・債券市場の上昇（利回り低下）

【主な下落要因】

- ・円高ブラジルリアル安

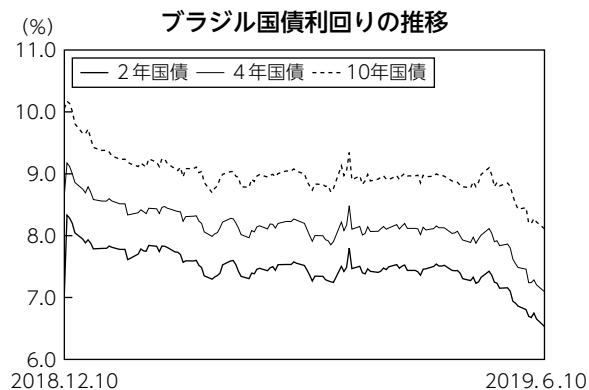
投資環境

●ブラジル経済

年金改革に対する期待が一時先行きの景気見通しを改善させましたが、経済指標は低調となりました。このような中、2019年1－3月期の実質GDP（国内総生産）は輸出と投資のマイナスなどから前期比でマイナス成長となりました。年金改革においては法案成立へ向けて徐々に歩みを進めていますが、年金の削減規模など依然として課題が残りました。

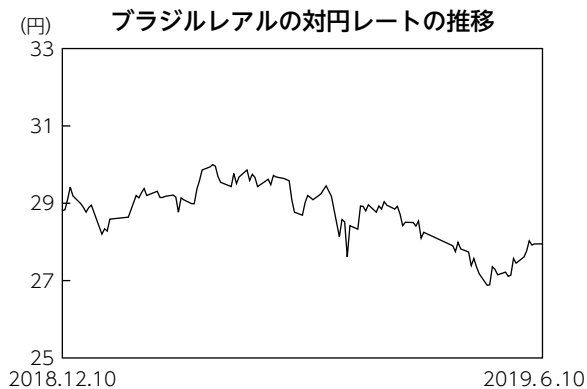
●ブラジル債券市場

ブラジル国債利回りは低下（価格は上昇）しました。景気の減速懸念やインフレの落ち着きを背景に利上げ観測が後退したことなどから利回りが低下しました。また、作成期末にかけては利下げ観測が台頭し始め、債券利回りは低下幅を拡大しました。



●為替市場

ブラジルレアルは年金改革法案に対する不透明感などから値動きの荒い動きとなりましたが、対米ドルでは前作成期末と比較してほぼ変わらずとなりました。対円では、米中間の貿易問題に対する懸念や、米国の利下げ観測の高まりなどが円高要因となったことから円高ブラジルレアル安となりました。



●短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の短期国債の買い入れ姿勢や海外勢の需要などを睨み、マイナス圏で推移しました。

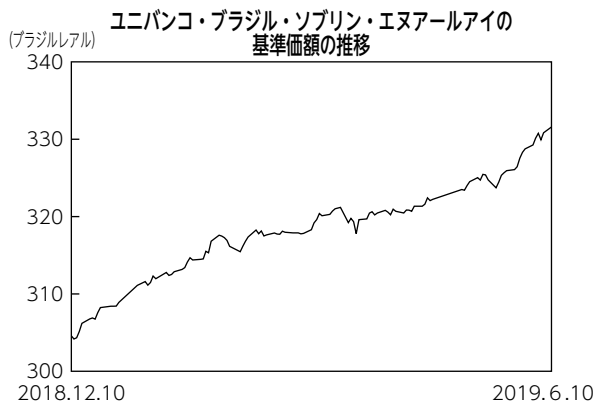
ポートフォリオについて

●当ファンド

資金動向に応じてブラジル債券・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジル債券・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

●ブラジル債券・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。ポートフォリオの構築は、ブラジルの経済状況、金融政策見通し、債券市況の動向などを分析して、変動金利国債、割引国債、利付国債、物価連動国債の各組入比率を機動的に変更させるとともに、銘柄の投資価値などを分析して行いました。当作成期間においては、物価上昇の可能性を考慮し物価連動債を中心にポートフォリオを構築しました。デュレーションは長期ゾーンの投資妙味が高いと判断し、長期化した水準を維持しました。



※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

●短期公社債マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

実質的にレアル建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。したがって、グラフは掲載しておりません。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
	2018年12月11日 ~2019年1月8日	2019年1月9日 ~2019年2月8日	2019年2月9日 ~2019年3月8日	2019年3月9日 ~2019年4月8日	2019年4月9日 ~2019年5月8日	2019年5月9日 ~2019年6月10日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	1.018%	1.000%	1.032%	1.034%	1.074%	1.052%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	846円	855円	863円	871円	878円	886円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

〈市況見通し〉

ブラジル経済は、足元で経済指標が伸び悩んでおり、景気回復に遅れが見られます。大統領の公約である年金改革は前進しておりますが、引き続き年金の削減規模や成立時期などは注目されます。

ブラジルの政策金利は、景気の伸び悩みに加え、インフレ圧力の落ち着きが窺えることから2019年内の利下げの可能性も浮上してきました。債券市場においては利下げの織り込みが進んでいないこともあり、中長期的に底堅い動きを想定しています。

為替に関しては、リアルは、世界的な景気動向など国外情勢のほか、ボルソナロ政権の議会運営など国内の政治動向を睨み値動きの荒い場面も想定されますが、年金改革法案が年内に可決する可能性を考慮すると中長期的に上昇する可能性があるかと想定しています。このような環境下、リアルの動きに注視しながら、ブラジル中銀は必要に応じて為替介入を実施し、過度な値動きの抑制を図ると考えています。

〈運用方針〉

●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジルボンド・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ブラジルボンド・ファンド

引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。ポートフォリオの構築は、ブラジルの経済状況、金融政策見通し、債券市況の動向などを分析して、変動金利国債、割引国債、利付国債、物価連動国債の各組入比率を機動的に変更させるとともに、銘柄の投資価値などを分析して行いました。今後は、債券市場の値動き等に注視しつつ、現状程度のデュレーション水準を維持する方針です。加えて、引き続きイールドカーブの形状などに注視しながら機動的にポートフォリオを構築していく方針です。

●短期公社債マザーファンド

金利水準等に注視しながらわが国の短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

項目	第119期～第124期		項目の概要
	(2018年12月11日 ～2019年6月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	12円	0.646%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は1,927円です。
(投信会社)	(5)	(0.242)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(7)	(0.377)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.088	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.087)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	14	0.734	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年6月10日)

投資信託証券

銘柄			第119期～第124期			
			買付		売付	
			□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	ブラジル	ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	□ 189,610	千ブラジルリアル 58,000	□ 374,318	千ブラジルリアル 115,000

※金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年6月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	第118期末		第124期末		比率
		□ 数	□ 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ		□ 5,650,550	□ 5,465,843	千ブラジルレアル 1,648,385	千円 46,072,360	% 96.3
合	計	5,650,550	5,465,843	1,648,385	46,072,360	96.3

※邦貨換算金額は、第124期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※比率は、第124期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※金額は、単位未満を切り捨ててあります。比率は、小数第2位を四捨五入しています。なお、合計は、切り捨て・四捨五入の関係で合わない場合があります。

親投資信託残高

銘	柄	第118期末		第124期末	
		□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
短期公社債マザーファンド		千□ 107,294	千□ 107,294	千円 109,257	

親投資信託の決算日における組入資産の明細につきまして、後述の親投資信託の「運用報告書」に記載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項 目	第124期末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 46,072,360	% 94.0
短期公社債マザーファンド	109,257	0.2
コール・ローン等、その他	2,848,249	5.8
投資信託財産総額	49,029,866	100.0

※外貨建資産は、第124期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年6月10日における邦貨換算レートは、1ブラジルレアル=27.95円です。

※外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、94.0% (46,072,360千円) です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末
	2019年1月8日現在	2019年2月8日現在	2019年3月8日現在	2019年4月8日現在	2019年5月8日現在	2019年6月10日現在
(A) 資 産	52,838,451,405円	52,817,941,586円	50,530,155,270円	51,505,561,749円	48,020,700,179円	49,029,866,129円
コール・ローン等	4,066,978,644	3,081,782,024	3,320,535,353	3,103,572,516	2,394,774,836	2,848,247,846
投資証券(評価額)	48,662,183,081	49,626,880,611	47,100,340,966	46,786,073,344	44,766,552,808	46,072,360,791
短期公社債マザーファンド(評価額)	109,289,680	109,278,951	109,278,951	109,268,221	109,268,221	109,257,492
未 収 入 金	-	-	-	1,506,647,668	-	-
未 収 配 当 金	-	-	-	-	750,104,314	-
(B) 負 債	673,380,168	818,016,394	725,439,438	2,132,677,038	657,921,149	1,162,532,105
未 払 金	-	-	-	1,496,925,715	-	503,100,000
未払収益分配金	536,272,762	525,315,785	519,398,402	515,867,963	514,034,682	508,728,152
未払解約金	83,541,599	234,767,035	154,265,665	64,825,221	91,806,154	95,428,307
未払信託報酬	53,473,407	57,834,408	51,689,519	54,963,610	51,989,636	55,178,865
未払利息	4,327	4,221	749	3,080	3,607	3,403
その他未払費用	88,073	94,945	85,103	91,449	87,070	93,378
(C) 純資産総額(A-B)	52,165,071,237	51,999,925,192	49,804,715,832	49,372,884,711	47,362,779,030	47,867,334,024
元 本	268,136,381,369	262,657,892,984	259,699,201,384	257,933,981,868	257,017,341,110	254,364,076,049
次期繰越損益金	△215,971,310,132	△210,657,967,792	△209,894,485,552	△208,561,097,157	△209,654,562,080	△206,496,742,025
(D) 受益権総口数	268,136,381,369口	262,657,892,984口	259,699,201,384口	257,933,981,868口	257,017,341,110口	254,364,076,049口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,945円	1,980円	1,918円	1,914円	1,843円	1,882円

○損益の状況

項 目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
	2018年12月11日～ 2019年1月8日	2019年1月9日～ 2019年2月8日	2019年2月9日～ 2019年3月8日	2019年3月9日～ 2019年4月8日	2019年4月9日～ 2019年5月8日	2019年5月9日～ 2019年6月10日
(A) 配 当 等 収 益	794,266,260円	819,438,708円	773,965,507円	776,187,088円	749,946,025円	753,376,671円
受取配当金	794,788,336	824,900,362	777,675,716	777,675,716	750,104,314	754,797,415
受取利息	-	-	-	910	-	-
支払利息	△ 522,076	△ 5,461,654	△ 3,710,209	△ 1,489,538	△ 158,289	△ 1,420,744
(B) 有価証券売買損益	818,615,306	674,464,134	△ 1,806,653,192	△ 296,740,547	△ 2,016,992,415	816,156,983
売 買 益	825,711,148	681,729,078	3,245,071	20,042,029	8,874,633	810,812,126
売 買 損	△ 7,095,842	△ 7,264,944	△ 1,809,898,263	△ 316,782,576	△ 2,025,867,048	5,344,857
(C) 信託報酬等	△ 59,828,438	△ 70,793,103	△ 57,834,276	△ 61,679,898	△ 52,076,706	△ 67,026,688
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,553,053,128	1,423,109,739	△ 1,090,521,961	417,766,643	△ 1,319,123,096	1,502,506,966
(E) 前期繰越損益金	△ 51,139,519,885	△ 48,877,439,570	△ 47,116,888,581	△ 47,837,850,565	△ 47,307,958,971	△ 48,319,262,254
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△165,848,570,613 (10,284,416,665)	△162,678,322,176 (10,129,753,706)	△161,167,676,608 (10,100,409,869)	△160,625,145,272 (10,174,065,622)	△160,513,445,331 (10,255,552,961)	△159,171,258,585 (10,229,169,080)
(G) 計 (D+E+F)	△215,435,037,370 (△176,132,987,278)	△210,132,652,007 (△172,808,075,882)	△209,375,087,150 (△171,268,086,477)	△208,045,229,194 (△170,799,210,894)	△209,140,527,398 (△170,768,998,292)	△205,988,013,873 (△169,400,427,665)
(H) 収益分配金 (配当等相当額)	△ 536,272,762 (10,284,416,665)	△ 525,315,785 (10,129,753,698)	△ 519,398,402 (10,100,409,862)	△ 515,867,963 (10,174,065,610)	△ 514,034,682 (10,255,552,943)	△ 508,728,152 (10,229,169,168)
次期繰越損益金(G+H)	△215,971,310,132 (△176,132,987,269)	△210,657,967,792 (△172,808,075,874)	△209,894,485,552 (△171,268,086,470)	△208,561,097,157 (△170,799,210,882)	△209,654,562,080 (△170,768,998,274)	△206,496,742,025 (△169,400,427,753)
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△165,848,570,613 (10,284,416,665)	△162,678,322,176 (10,129,753,698)	△161,167,676,608 (10,100,409,862)	△160,625,145,272 (10,174,065,610)	△160,513,445,331 (10,255,552,943)	△159,171,258,585 (10,229,169,168)
売買損益相当額	△176,132,987,269	△172,808,075,874	△171,268,086,470	△170,799,210,882	△170,768,998,274	△169,400,427,753
分配準備積立金	12,402,002,665	12,349,161,041	12,323,830,834	12,297,633,334	12,320,354,621	12,326,824,807
繰越損益金	△ 62,524,742,184	△ 60,328,806,657	△ 61,050,639,778	△ 60,233,585,219	△ 61,461,471,370	△ 59,652,308,247

- ・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項 (運用報告書作成時点では監査未了です。)

- ・信託財産に係る作成期首元本額、作成期中追加設定元本額及び作成期中一部解約元本額
 作成期首元本額 272,798,085,766円
 作成期中追加設定元本額 11,449,844,549円
 作成期中一部解約元本額 29,883,854,266円

・分配金の計算過程

第119期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (764,799,717円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (10,284,416,656円) 及び分配準備積立金 (12,173,475,710円) より分配対象収益は23,222,692,083円 (1万口当たり866.06円) であり、うち536,272,762円 (1万口当たり20円) を分配しております。

第120期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (780,602,036円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (10,129,753,698円) 及び分配準備積立金 (12,093,874,790円) より分配対象収益は23,004,230,524円 (1万口当たり875.80円) であり、うち525,315,785円 (1万口当たり20円) を分配しております。

第121期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (716,127,474円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (10,100,409,862円) 及び分配準備積立金 (12,127,101,762円) より分配対象収益は22,943,639,098円 (1万口当たり883.45円) であり、うち519,398,402円 (1万口当たり20円) を分配しております。

第122期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (714,503,013円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (10,174,065,610円) 及び分配準備積立金 (12,098,998,284円) より分配対象収益は22,987,566,907円 (1万口当たり891.20円) であり、うち515,867,963円 (1万口当たり20円) を分配しております。

第123期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (697,863,160円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (10,255,552,943円) 及び分配準備積立金 (12,136,526,143円) より分配対象収益は23,089,942,246円 (1万口当たり898.37円) であり、うち514,034,682円 (1万口当たり20円) を分配しております。

第124期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (721,248,575円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (10,229,169,168円) 及び分配準備積立金 (12,114,304,384円) より分配対象収益は23,064,722,127円 (1万口当たり906.74円) であり、うち508,728,152円 (1万口当たり20円) を分配しております。

■ご参考：分配金の計算過程 (上記に文章で記載しているものを、表組みにまとめています。)

〔総 額〕

(単位：円)

項 目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
(a) 費用控除後の配当等収益	764,799,717	780,602,036	716,127,474	714,503,013	697,863,160	721,248,575
(b) 費用控除後等の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	10,284,416,656	10,129,753,698	10,100,409,862	10,174,065,610	10,255,552,943	10,229,169,168
(d) 分配準備積立金	12,173,475,710	12,093,874,790	12,127,101,762	12,098,998,284	12,136,526,143	12,114,304,384
(e) 当期分配対象収益(a+b+c+d)	23,222,692,083	23,004,230,524	22,943,639,098	22,987,566,907	23,089,942,246	23,064,722,127
(f) 分配金	536,272,762	525,315,785	519,398,402	515,867,963	514,034,682	508,728,152
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	22,686,419,321	22,478,914,739	22,424,240,696	22,471,698,944	22,575,907,564	22,555,993,975
(h) 受益権総口数(口)	268,136,381,369	262,657,892,984	259,699,201,384	257,933,981,868	257,017,341,110	254,364,076,049

〔1万口当たり〕

(単位：円)

項 目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
(a) 費用控除後の配当等収益	28.52	29.71	27.57	27.70	27.15	28.35
(b) 費用控除後等の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	383.55	385.66	388.92	394.44	399.02	402.14
(d) 分配準備積立金	453.99	460.43	466.96	469.06	472.20	476.25
(e) 当期分配対象収益(a+b+c+d)	866.06	875.80	883.45	891.20	898.37	906.74
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	846.06	855.80	863.45	871.20	878.37	886.74

○分配金のお知らせ

	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
1万口当たり分配金(税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

1. 分配金のお支払いは、決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 自動継続投資契約を結んだ方のお手取り分配金は、決算日の基準価額(分配落ち)にもとづき、それぞれの口座に再投資いたしました。
3. 分配金は普通分配金に課税されます。
4. 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	ブラジル籍外国投資法人／ブラジルレアル建投資証券
主 な 運 用 方 針	信用リスクの低い金融資産などを通じて国内金利商品に実質的に投資することにより受益者に利益を提供することを目的とします。金利市場の変動性が高まった場合においても、同市場への実質的な投資は維持します。
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の98%以上をブラジル政府の発行する債券に投資します。 ・派生商品取引については、流動性を有し、時価評価が可能なものについて、保有証券の範囲内で、ポートフォリオの保護または実質的な投資比率の確保の目的で利用します。 ・低流動性資産への投資は純資産総額の15%未満とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・レバレッジをかける運用は行いません。 ・資金の借り入れは原則として行いません。 ・レポ取引は行いません。 ・自らが発行するユニットを含む、いかなるファンドまたは投資スキームの受益権または持分の取得も行いません。 ・為替ヘッジは行いません。
信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年12月31日
収 益 分 配 方 針	設定当初を除き、原則として毎月、運用会社が決定した額を分配します。
信 託 報 酬 等	純資産総額に対して年率0.25%を乗じて得た額 上記の他、証券取引に伴う手数料、ファンドの設立に関連した費用などがファンドから支払われます。
関 係 法 人	管理事務代行会社 兼 保管銀行 兼 投資顧問会社：イタウ・ユニバンコ・エス・エー

(1) 財政状態計算書

2018年12月31日現在

投資／銘柄	数量	公正価値／実現可能価額 千レアル	運用純資産に対する比率 %
1. 現金および銀行		3	0.00
銀行預金		3	0.00
2. 債券		1,687,756	101.66
2.1 連邦中期国債－NTN		1,214,141	73.13
2.2 連邦短期国債－LTN		449,638	27.08
2.3 財務省短期証券－LFT		23,977	1.45
3. デリバティブ金融商品		173	0.01
3.1 先物市場		173	0.01
4. 資産合計		1,687,932	101.67
5. デリバティブ金融商品		67	0.00
5.1 先物市場		67	0.00
6. 未払金		27,625	1.67
7. 負債合計		27,692	1.67
8. 運用純資産		1,660,240	100.00

(2) 運用純資産変動計算書

2018年および2017年12月31日終了した会計年度

(単位：1口当たり証券価額を除き、千リアル)

				2018年12月	2017年12月
期首現在運用純資産					
合計	5,765,833.350	レアル建証券	393.136365	2,266,759	
	2,854,750.130	レアル建証券	541.667626		1,546,326
証券の発行	857,913.266	証券		319,000	
	3,132,329.911	証券			1,502,800
証券の償還	1,168,782.059	証券		(1,144,095)	
	221,246.691	証券			(216,207)
アモチゼーション				(727,236)	(918,130)
証券の償還の変動額				764,095	126,207
当期損益控除前運用純資産				1,478,523	2,040,996
当期損益の構成：					
A-債券およびその他の有価証券				205,413	225,782
公正価値でのインカム・ゲインおよび評価益の認識				188,690	206,088
取引利益 (損失)				16,723	19,694
B-その他の収益				166,573	145,334
デリバティブによる利益				166,573	145,334
C-その他の費用				190,269	145,353
投資顧問会社報酬				5,027	5,180
監査および保管				90	85
デリバティブによる損失				184,825	139,707
検査報酬				68	65
雑費				259	316
当期純損益				181,717	225,763
当期末現在運用純資産					
合計	5,454,964.557	レアル建証券	304.354034	1,660,240	
	5,765,833.350	レアル建証券	393.136365		2,266,759

(イタウ・ユニバンク・エス・エー提供の財務書類より作成しております。)

(3) 有価証券明細

2018年12月31日現在

銘柄名	利率	評価額	償還年月日
	%	ブラジルレアル	
NTN-B (物価連動国債)	6.00	305,448,448.54	2023/5/15
LTN (割引国債)	—	246,509,260.28	2020/7/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	232,998,150.05	2022/8/15
LTN (割引国債)	—	183,980,960.65	2019/4/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	102,462,671.64	2019/5/15
NTN-F (利付国債)	10.00	101,004,624.39	2023/1/2
NTN-B (物価連動国債)	6.00	74,676,478.00	2050/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	67,898,123.33	2021/5/17
NTN-F (利付国債)	10.00	60,624,338.56	2027/1/4
NTN-F (利付国債)	10.00	53,972,581.14	2025/1/2
NTN-B (物価連動国債)	6.00	42,988,351.62	2045/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	34,787,168.49	2035/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	29,164,111.47	2020/8/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	26,117,839.55	2024/8/15
LFT (変動金利国債)	—	23,976,784.22	2023/3/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	22,810,743.94	2040/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	21,663,064.11	2026/8/17
LTN (割引国債)	—	19,072,791.66	2019/7/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	17,974,526.91	2055/5/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	16,811,320.24	2030/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	2,703,657.05	2028/8/15
LTN (割引国債)	—	74,981.04	2019/1/2
NTN-F (利付国債)	10.00	29,359.26	2019/1/2
NTN-F (利付国債)	10.00	5,472.85	2021/1/4

(イタウ・ユニバンク・エス・エー提供のデータより作成しております。)

短期公社債マザーファンド

第12期 運用報告書

(決算日 2018年8月22日)

『短期公社債マザーファンド』は、去る2018年8月22日に第12期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主としてわが国の短期公社債に投資し、利子等の安定した収益の確保をはかることを目的として運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	期騰	落率			
10期 (2016年8月22日)	円	%	%	%	百万円
	10,200	0.00	64.0	—	385
11期 (2017年8月22日)	10,195	△0.05	—	—	375
12期 (2018年8月22日)	10,188	△0.07	—	—	375

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

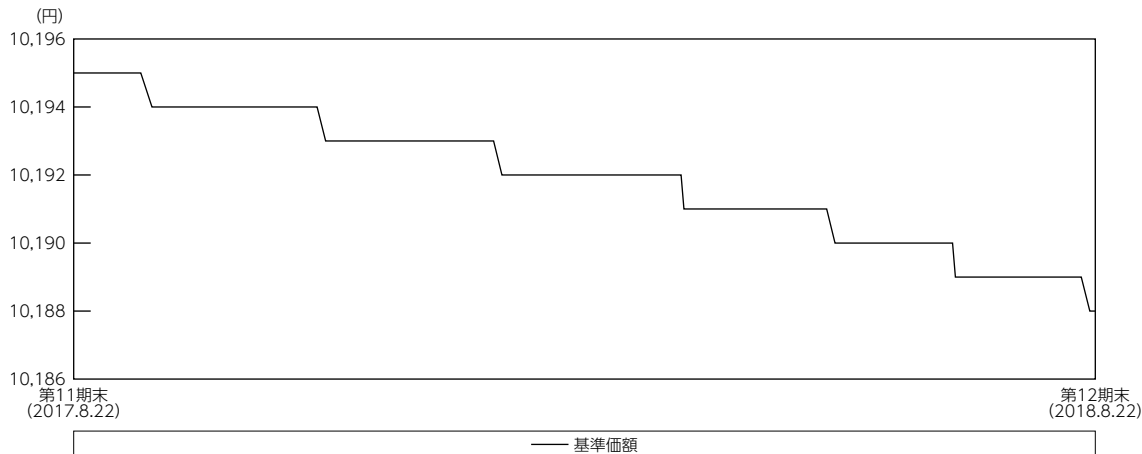
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債先物比率	券率
	騰	落率			
(期首) 2017年8月22日	円	%	%	%	%
	10,195	—	—	—	—
8月末	10,195	0.00	—	—	—
9月末	10,194	△0.01	—	—	—
10月末	10,194	△0.01	—	—	—
11月末	10,193	△0.02	—	—	—
12月末	10,193	△0.02	—	—	—
2018年1月末	10,192	△0.03	—	—	—
2月末	10,192	△0.03	—	—	—
3月末	10,191	△0.04	—	—	—
4月末	10,191	△0.04	—	—	—
5月末	10,190	△0.05	—	—	—
6月末	10,190	△0.05	—	—	—
7月末	10,189	△0.06	—	—	—
(期末) 2018年8月22日	10,188	△0.07	—	—	—

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり期首10,195円から、10,188円に7円の値下がりとなりました。

投資環境

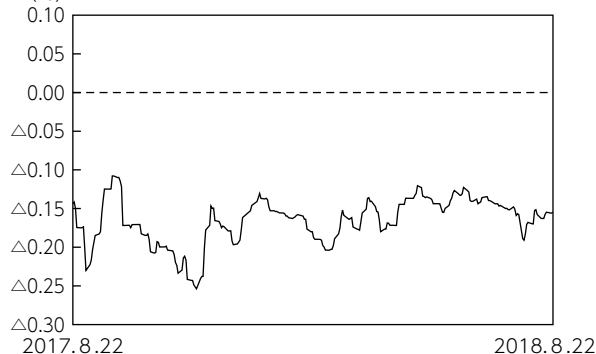
●国内債券市場

当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。日銀は黒田総裁の第2期以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けています。

また、2018年7月の日銀政策決定会合において、長期金利を0%程度に誘導する目標自体は維持しつつ、変動幅の上限を0.2%程度まで容認する金融政策の調整を行いました。発表直後は、一時的にボラティリティが高まる場面もありましたが、イールドカーブは全体的に狭いレンジでの動きに留まっています。

一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの推移



※国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

■ ポートフォリオについて

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。ファン
ドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み
入れはありません。

■ ベンチマークとの差異について

本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数
を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、
ベンチマークおよび参考指数はありません。よってグラフは掲載していません。

今後の運用方針

引き続き残存1年以内の公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境
によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年8月23日～2018年8月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年8月23日～2018年8月22日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月23日～2018年8月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年8月22日現在)

2018年8月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2018年8月22日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額		比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円		%
	375,595		100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	375,595		100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年8月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	375,595,509円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	375,595,509
(B) 負 債	720
未 払 利 息	720
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	375,594,789
元 本	368,647,987
次 期 繰 越 損 益 金	6,946,802
(D) 受 益 権 総 口 数	368,647,987口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,188円

○損益の状況 (2017年8月23日～2018年8月22日)

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	△ 241,831円
支 払 利 息	△ 241,831
(B) 当 期 利 益(A)	△ 241,831
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	7,188,633
(D) 計 (B+C)	6,946,802
次 期 繰 越 損 益 金(D)	6,946,802

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	368,647,987円
期中追加設定元本額	-円
期中一部解約元本額	-円

期末元本の内訳

新光ピュア・インド株式ファンド	218,092,300円
新光ブラジル債券ファンド	107,294,012円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 円コース	5,039,539円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 豪ドルコース	17,759,859円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) ブラジルリアルコース	18,509,839円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 南アフリカランドコース	1,014,560円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) マネープールファンド	937,878円
合 計	368,647,987円